



社会

遠藤誠 議員 (WAKABA)

人口増のための 婚活事業を

**答弁…県などと連携して結婚支援を
推進する**

問 市政基本方針に少子高齢対策がある。ここ数十年、人口は自然に任せるだけで、人口政策は給付のみである。ここ40年で出生数は半減した。婚外子が一般的でないわが国では、形はともあれ結婚→出産のための婚活事業を考えるべきではないか。

答 結婚に対する考え方や出会いの機会などが多様化する中で、引き続き、県や近隣自治体と連携して、結婚支援を推進するとともに、結婚・出産・子育てを望むかたの希望がかなえられる環境を整えることで、持続可能な地域をつくっていききたいと考えている。



給食

斎藤信治 議員 (WAKABA)

給食費無償化に 備えて

答弁…給食の質と量を維持していく

問 小学校の給食費が無償化される見込みだが、現在と同じ給食の質と量を保証できるか。白岡産の食材による地産地消を、さらに、無農薬野菜や有機野菜の使用を進められないか。先進地域を研究し、キーとなるコーディネーターを探してみてはいかがか。

答 給食費の無償化に対する国の補助制度は、現在、未確定であるが、給食の質と量を維持していく。地場産野菜や無農薬野菜、有機野菜の利用には、安定的な供給や生産コスト等の課題も多い。また、コーディネーターについては、今後、先進自治体を参考に研究する。



家族

中川幸廣 議員 (真風)

ラーケーション 導入の考えは

**答弁…実施自治体の状況等を
注視していく**

問 ラーケーションは学習と休暇を合わせた造語で、既に愛知県はじめ他の自治体でも導入されている。導入に当たってはいろいろな問題も考えられるが、新規世帯の転入を目指す点からも有効な学校教育の在り方と考える。市として導入の考えはないか。

答 ラーケーションの導入に当たっては、一定の意義がある反面、課題もある。

学校現場や保護者の意見を丁寧に伺いながら、国や県の動向、さらに愛知県や大分県などの先進自治体における実施状況やその成果を注視していく。



施設

浜口清志 議員 (日本共産党)

公立図書館の指定 管理者制度導入は

**答弁…最も適切な管理を行う事業者を
選定する**

問 公立図書館は、地域の拠点として継続的に資料・情報を収集・保存し、提供するとともに、地域コミュニティ及び地域文化の拠点としての役割がある。その役割が担保できるか。また、指定管理者が変わる際、事業の継続性・安定性・公平性は担保できるのか。

答 指定管理者が市の策定した運営方針に基づき管理運営を行い、市が監督することで、施設に求められる役割を担保する。指定管理者の選定において、施設利用の公平性を確保し、継続して安定した管理運営を行うことができる民間事業者を選定する。